

9. 雲取山

1) 日程

1985年02月01日～02月02日（1泊2日小屋泊）

2) コース

第1日 鴨沢一堂所—七ッ石小屋—七ッ石山—奥多摩小屋—雲取山避難小屋

第2日 雲取山避難小屋—奥多摩小屋—七ッ石山—鷹ノ巣山避難小屋—鷹ノ巣山—
六ッ石山—奥多摩駅

3) 記録&コースタイム

年月日	時間		場所	備考	
1985.02.01	09:45	着	鴨沢	毎年この季節になると雲取山山頂の避難小屋に泊りに行く。東京生まれの自分にとっては故郷の山なのだ。	
	09:52	発			
	10:25	通過		道が登山道らしくなると、日陰は雪道となる。	
	12:02	着	堂所	昼食をとる。	
	12:17	発			
	13:45	通過	七ッ石小屋		
	13:45	着	七ッ石山	雪に覆われた七ッ石山頂でレスト。時々差してくる冬の柔かい日差しが心地よい。尾根沿いに雲取りまでの白い道が続いている。 この辺りでは、七ッ石の北斜面が一番雪が深く20～30cmあった。	
	13:48	発			
	14:40	着	奥多摩小屋	町営奥多摩小屋前で一休みし、水場まで水汲みに行く。この下りが滑りやすく、今回の山行でも一番の危険箇所といえるかもしれない。	
	14:50	発			
		15:45	着	雲取山避難小屋	山頂の非難小屋には、ここのところ年に1～2度は訪れている。自分の別荘のような感じだ。ただし東京とはいえ、2,000mの標高があり、その寒さは一級の冬山と変わらない。
	1985.01.02	05:35	起床	雲取山避難小屋	朝から空は厚い雲に覆われ、雪も結構降っている。
07:25		発			

1985.01.02	07:52	通過	奥多摩小屋	この季節に雲取には、地上に広がる銀河のような東京の夜景と、朝日にきらきら輝く海を見るために、冬型の気圧配置の強まるのをねらって来ているが、今回は両方とも見ることはできなかった。
	08:32	着	七ッ石山	
	08:35	発		
	09:45	着	鷹ノ巣山避難小屋	
	10:05	発		
	10:30	着	鷹ノ巣山	雪も止み、のんびりと昼食をとる
	11:10	発		
	12:20	着	六ッ石山	縦走路からそれて、六ッ石までピストン。
	12:40	発		
	15:10	着	奥多摩駅	樹林の道をひたすら下って奥多摩駅へ。